

nouvelle Fontaine

発行日 2016年7月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email:fontaine@sensyu.ne.jp

http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/

人がいき 地域が輝く まち岸和田を目指して

岸和田文化事業協会 会長 松本 則子



人には人格があるように、都市にも都市格があると言われ始めたのは1975年頃からでしょうか。1973年に大阪府に文化振興室が、74年には兵庫県に文化局が生まれ、日本全国でホールなどの箱物が盛んに建設され始めた頃です。岸和田にマドカホールが誕生したのは1984年5月です。6年後の1990年3月に水戸芸術館が開館しています。

行政の文化化とか文化による町おこしという事が盛んにいわれ「文化の見える町おこし」というシンポジウムやフォーラムが熱心に行われていました。

その話し合いの中でホールの生まれ方が全く対象的だった岸和田と水戸が話題になり、東の水戸、西の岸和田と騒がれていました。水戸は市の財政の何%かを文化に使うと決めていたし、その運営には音楽・演劇のトップランナーを芸術監督として話題になっていました。

岸和田ではホール建設に当たり、市民が文化関係者や団体で「文化ホールの運営を考える会」という検討委員会をつくり、それがそのまま館の運営にかかわる「文化会館等運営委員会」という組織となっていきました。水戸発の芸術作品が社会に出ていき、話題になり、マドカホールは市民が集う、従来の公民館のような性格を合わせもって活動していきました。

生い立ちも育ちも異なる二つを対比しての町おこしなどのシンポジウムに私もかなり熱心に参加しました。残念ながらこの頃の私は岸和田市民ではありましたが人形劇団クラルテにいて、旅から旅の流れ芸人で岸和田を遠くから眺めていました。「文化の見える町おこし」のシンポジウムやフォーラムには児童・青少年演劇人として参加してました。

その頃から30年たち、私は人形劇団クラルテの役職から解放され、全国組織の役員は全児演（全国児童・青少年演劇協議会）の運営委員長のみとなりましたが、今度は岸和田文化事業協会の会長という重責を担って活動しています。

おかげで岸和田のいろいろな方と岸和田の文化について語る機会ができています。そしていまだに「東の水戸、西の岸和田」という言葉と再々出会います。その使われ方に疑問を持つこともあります。一番気にかかるのは、それで「30年後の東の水戸と西の岸和田はどうなったのよ」ということが語られていない事です。岸和田の中でも言葉としてはあるが中味は語られていないと思います。

市民参加型といってもいいかもしれない岸和田の都市格は30年前からどう変化してきたのでしょうか。

人格というのは生まれつきあるのではなく、人となっていく中で構築されていき、尊敬されたり、愛されたり、時には蔑まれることになったりもします。都市の格もその都市の市民が構築していくものだと思います。ライフスタイルへのこだわりに絡むような生き方、暮らし方に係わる側面と、音楽や芸術のようないわゆる芸術文化といわれる側面ともに豊かである事が都市の格を上げていくのではと考えます。

岸和田藩の城下町として文化を受けつぎ、人口20万の都市岸和田には独特の岸和田人気があり私は思っています。その気質を生かし、市のキャッチフレーズ「人がいき 地域が輝くまち岸和田」となるために文化事業協会が果たすべき重責があると心に刻み、2018年度を歩きたいと思っています。

岸和田文化事業協会

平成28年度

定時総会を開催



へちかん
ノ貫のお茶を呈示
(野点での始まりのお茶)

平成28年度定時総会

5月28日(土)に岸和田文化事業協会平成28年度定時総会を来賓、他団体の代表の方々の御出席もいただき開催しました。

松本則子会長は「当市は歴史・文化のある都市である。会員の皆さんと共に市の文化度、都市格を高める活動をしてゆきましょう」と挨拶。

来賓の信貴芳則市長から「本市は、外からは元気のいい町と言われるが、その中で、文化の香り高く都市格の高い都市にするために活動をしてもらっている」と祝辞をいただきました。

また、高田昌大阪文化団体連合会運営委員長は「^{ただし}昨年^のの府文団連文化フォーラムで、岸和田文化事業協会は市民の活動により様々な事業を展開していると報告をいただきました。誇れる活動として府文団連の機関誌にて紹介をしていきます」との祝辞をいただきました。

また来賓として、近松健二浪切ホール館長、黒石忠志企画調整部長、赤井優世文化国際課長がご臨席くださいました。

議事に移り、議長に西出国男氏を選出。平成27年度事業報告、同決算報告、監査報告、平成28年度事業計画(案)、同予算(案)を検討し全て了承されました。

総会に先立ち、轟陶磁史料室の西念秋夫氏(本協会副会長)による「茶の歴史」の講演が行われ、40人の聴衆が大変興味深く聞き入りました。

また総会開催に合わせ、5月25日(水)～29日(日)の間展示室にて「茶の歴史展」を開催し総計133人の入場がありました。期間中には日替わりで、時代別のお茶が提供されるという凝った趣向の呈茶も行われました。

特に28日総会の日には「^{おおぶくちや}大福茶」が振舞われました。平安時代疫病の流行に対し空也が茶を薬として注目。中国の^{だんちや}団茶^(注)を^{やげん}薬研で挽き粉状にしたものを粥に加え、梅干・塩昆布を混ぜて食させ、さしもの疫病も終息したのにあやかり、1年の無病息災を願い元日にいただく習慣が「大福茶」として広まったものです。

香りが高く「美味しい、美味しい」と会場では大好評でした。

講演、多くの茶道具を惜しみなく提供くださったの展示、そして呈茶と、全ては轟陶磁史料室の西念秋夫氏(本協会副会長)のご尽力によるもので、ひと味もふた味も異なる総会を行うことができました。(本郷元子)

(注)：茶葉を蒸して搗き、型に入れて乾燥したもの。中国で輸出用に作られた。

幕末の神道家

矢野守光 (やの もりみつ)

金熊寺権現社（信達神社）の神主矢野守光の名を知る人は少ないでしょう。

天明4（1784）年、吉田神道に属する権現社の神主であった父光濟の長男に生まれ、「世の中に麻は種なくなりけり、心のままの蓬よもぎのみにて」と世の乱れを嘆き、「心にもまかせぬ世とて国民くにたみを、なほさり（なおざり）にやは おもひなすべき」との思いから、垂加神道を学び、20代の頃から福岡、徳島、愛媛、広島、島根、鳥取、兵庫、和歌山の各地をまわり、僧侶との宗論も経験しつつ、晩年まで神道を広める活動をしました。「忘るなよ、昼は耕し草切りて、夜は縄なへと言える教えを」と神を信じ、懸命に働き心穏やかに生きることを、わかりやすい言葉で説く活動は、領主にも歓迎され、「程能く教諭致し候て風儀人柄も相直り」と評価され、宇和島藩主伊達村寿むらながから表彰されています。

しかし、守光は庶民にも通俗的な神道の教えを説いただけではありません。各地で藩士や商人にも神道を広めていました。

文化9（1812）年には津和野藩主亀井矩賢のり、天保11（1840）年には江戸で、元岸和田藩主岡部長慎ながちか、鳥取西館藩主松平定保、伯太藩主渡邊潔綱ら藩主、一柳近江守、村垣左太夫ら旗本、白木屋、近江屋など商人たちに講釈しています。

地元岸和田藩士に対しても、弘化5（1848）年には、家中より招待され「学校」で8日間、紅松平右衛門宅に家中47人ほど集まり10日間、「御城内学

室」では家中の20人ほどに10日間講義しています。

安政2（1855）年には、藩儒相馬九方から「月両度二日宛つ」来て家中に講義して欲しいと頼まれ、斉藤貢、渡邊四郎左衛門らが世話人となり、「学校」で講義しています。こうした場で、守光はなにを講義したのでしょうか。詳しい記録は残されていませんが、延喜式、古事記、日本書紀、扶桑略記、古史成文、保建大記などの書名が見られます。

松江藩士高橋君風は「しるべして、君教えずば世の人は、神の道をもさとらざらまし」との和歌を守光に贈りましたが、守光は神道のみではなく、垂加神道を学んだことでもあり、「日の本はあまつひつぎのみことのり、我大君の国と知らずや」と尊王や攘夷の考えも藩士たちに伝えていたと思われます。

守光のみならず、各地における無名の神道講釈師の活動を通俗的と軽んずるだけでなく、かれらの活動が、尊王攘夷の風潮を幕末の社会に醸成することに寄与したことも忘れるべきではないでしょう。



金熊寺権現社（信達神社）

歩いて岸和田のよさを知る

岸和田慢歩

第22回 「畑町バス停から慰霊塔前バス停まで畑町内と極楽寺町内をめぐる」



岸和田慢歩
MAP



① 波多神社

5世紀頃には、この地に居住したとされる波多氏の始祖・波多八代宿彌を祭神とする古社。波多八代宿彌は第八代孝元天皇の曾孫とされ、『古事記』や『日本書紀』にも、その名がみえる。創建年は不明だが、平安時代に成立した『延喜式神名帳』には「従五位上の官位」を持った神社として記載されている。

② 浄満寺

浄土真宗本願寺派の寺院。創建は大永2(1522)年2月と伝えられている。

③ 極楽寺

浄土宗知恩院末寺で創建年代は不詳。永正9(1512)年に燈誉上人が中興。戦国時代には根来寺との攻防が、この寺院をめぐるも行われた城郭寺院でもある。境内には燈誉上人が信仰した住吉大明神が祀られ、山門には閻魔大王と三途の川で亡者の衣服を剥ぎ取る奪衣婆の像が安置されている。

④ 極楽寺町地車庫

東岸和田地区の祭礼に参加する極楽寺町のだんじりは、昭和28(1953)年の製作。現在、平成32年の完成を目指して新調中。

昭和13(1938)年に編入されるまで、土生、作才、畑、極楽寺、流木の各町は「土生郷村」に属していました。今回は、その中でも古墳時代からの歴史を持つ畑町から極楽寺町、流木町に至る地域を散策しました。

理事 齒黒 猛夫

⑤極楽寺地蔵

旧地車庫の横に祀られている地蔵尊。毎年10月17日には町会が主催の「古祭」が行われ、酒とイカ、イモがふるまわれる。

⑥火伏神社

オオナムチ神を祀り、「一本松」とも呼ばれる社。オオナムチは「火伏せの神」とされ、そのご加護により極楽寺村には雷は落ちないとの伝承がある。平成17(2005)年に改修。『土生郷村誌』には無名古墳と紹介されている。

⑦どろくじ地蔵尊

どろくじは「道陸神(どうろくじん)」がなまった名称。足の神様とされ、毎年7月23日には老人会主催による地蔵祭が行われる。この地蔵尊が祀られているあたりは「重惣」と呼ばれ、大化改新以後の条里地割りの十三の坪にあたとみられている。

⑧慰霊塔

流木墓地公園内にある戦没者慰霊塔。日清・日露戦争と先の大戦での戦没者の慰霊と永遠の平和を願い、昭和32(1957)年に建立された。

※編集の都合上、地図の縮小率は正しいものではありません。国土地理院発行やネットなどの正式な地図と照らし合わせて、散策することをおすすめします。

スタートは南海バスの畑町バス停から。すぐ山側の信号のある交差点を左に曲がり、しばらく歩くと、岸和田市内でも随一の歴史を持つ「波多神社」の境内が見えてきます。そして、もとの道の少し山側に入ると「浄満寺」があります。

再びもと来た道に戻り、右に曲がってまっすぐ進むと津田川が見えてきます。橋を渡って右に折れ、路地を山側に進み、突き当りを右に曲がると「極楽寺」の位置を示す矢印看板が架かっています。極楽寺からもとの道に戻り、左に曲がると右側に「極楽寺町」の地車庫。ちなみに、この道は大熊街道と呼ばれ、土生町から熊取まで続く古道です。

再び津田川を渡り、すぐの角を右に曲がり、しばらく進むと極楽寺町の旧地車庫があり、その隣には「極楽寺地蔵」が祀られています。旧地車庫前の道を左に曲がって和歌山方向へ進めば、極楽寺町の公民館の横にある「火伏神社」に到着します。

極楽寺町バス停のある広い道路を渡り、テニスクールの前を通って、すぐのところにあるのが「どろくじ地蔵」。まっすぐ進んで左折し、一面に広がる田園の中をしばらく歩くと、「慰霊塔」のある広場につながる階段が見えてきます。

貝塚市の久保から流木公園墓地にいたる道は自動車の通行も多く注意も必要ですが、畑町と極楽寺町の町内は交通量が少なく、比較的安全。ただし、距離は短いものの坂道が多いので、これからの季節は暑さ対策が必要です。とはいえ、津田川の流れや地域内に茂る緑、そして、どろくじ地蔵から慰霊塔までの田園風景は、暑さを忘れさせてくれるほどの爽快感を感じさせてくれるでしょう。

岸和田 あ・ら・か・る・と

『岸和田弁歳時記』 「戻り湯」(もどりゆ)

理事 藤田 保平

岸和田の浜が美つつくしい砂浜やったて知ってるかえ。そらまあ、54・5年前に無うなつてもたさかいのう。戦争に負けた昭和20年の前後ちゅうのは天災も多かつてね。大地震や大台風やらが毎年ほど襲うて来た。

いつの台風やったか、えらい高潮で旧の26号まで潮が上がった。勿論、浜筋は腰まで浸かった。井戸も便所も…(注)も水浸し。

そんなこんなで昭和37年頃に防潮堤が出来て岸和田から砂浜が無いよになつた。砂浜が無いよになつたら、「戻り湯」て言う、のどかて言うか、優雅な風習も消えてしもた。

「戻り湯」て言うのはね。旧暦の6月14日(今年

があつてね、その朝にお神輿洗いの行事をする。その神輿を洗ろうた海水が夕方には岸和田の浜へ流れつくて言うんで、その海水に足を浸けたら一年中無事息災に暮らせるて、山手の方からも「戻り湯」に足を浸けに来た。その時にゃ、皆夫々に浴衣を着て膝まで裾まくつて、今の温泉の足湯みたいに海水に浸かるんや。ちよつと想像してみい。何百人と言う人が入れ替り立ち替わり老若男女が裾まくつて浜辺でピチャピチャやってんや。おらはその中の一人やったさかい判らへんけど、^{はた}端で見ちゃつたら壮観やど。夜店も出て、帰りは夜店の甘藷を齒嚙み、薄甘い汁を吸りながら家へ帰んだ。

(注) かまど



Ichigo-Ichien

隠居の道楽「お城めぐり」顛末

行 龍男

私は何故か若い頃から「お城」が好きで、理由を聞かれても、「好きだから好き」としか答えられませんでしたが、とにかく好きでした。

定年退職後、城好きの仲間と10年以上各地の「城と城下町」を散策しましたが、この会が諸般の事情でやむなく中断になりました。

ちょうどその頃、岸和田のある公民館から、年間通しての「定期講座」を持ってもらえないかという依頼があり、老後の暇つぶしにでもと思い、今まで訪ねたお城の話でもしたらいいかなど簡単に了解しました。それがそもそもの大誤算で、一枠の2時間講座の内容を用意することがいかに大変かと云う事を思い知らされました。

例えば、大阪城について私の知っていることと言えば、ほんのわずかでした。それを系統的に2時間にまとめるという事は不可能でした。出来ませんと手を上げるわけにも行かず、まずは資料集めから始めました。なんとか仕上げ座学として勤めを果たしたのですが、実際の城を訪ねてみたいと言う声が出て、別枠として希

望者のみが自己責任で参加ということで実現しました。

以前訪問していたとしても、現在どうなっているかということで、下見に現地に行くのですが、参加者に説明する立場になると見方が変わってきます。今まで見過ごしていたことまで気になり、よく観察するようになりました。その一つを紹介しましょう。名古屋城の内堀の写真です。

なにか珍しいものが発見できましたか。

何度も訪れているお城であっても、新しい発見があり、初めて訪れたような感想を抱き、受講生と共に楽しんでいきます。



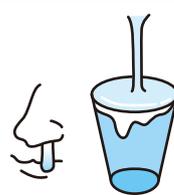
り、初めて訪れたような感想を抱き、受講生と共に楽しんでいきます。

新しいことについて



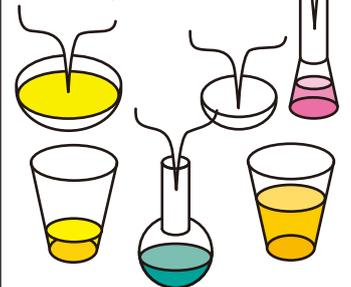
こんにちは作者の西武アキラです

僕は絵やマンガを描いていますが他にもいろいろな事をしていますなぜかといいますと



花粉症にも閾値があるように制作を始めるにも閾値があるようです

同じ様に普段何気なく見ていることや感じていることが日々溜まって行くと



自分の中に
どんどん
蓄し
積
て



ある日、突然

新しく作るぞー



という風に増えていく

からなのです

皆さんは、どんな
興味の器を
持っていますか？



Event Report

アンケートからの抜粋

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。
アンケートにご協力いただいた方の感想を紹介させていただきます。

蓄音機を使った昭和初期のレコードコンサート Vol.10

平成28年3月29日(火)
午後1時30分～

昭和初期の蓄音機を使い、昔懐かしいSPレコードの音色を聴き、楽しいひとときを過ごしました。昭和を思い出しながら、気持ちは？代に帰っていました。



〈皆さんの声〉

- ◆有意義に過ごさせていただきました。初めて、参加させて頂きました。今後も来させて頂きます。
- ◆持参されたレコードの選曲がとても楽しかった。
- ◆次回も、また寄せてもらいます。SP持って。
- ◆初めて生で蓄音機の音を聞きました。無声映画のような、レトロな音ですね。いい音です。
- ◆最近、昭和時代のことがいとおしく、なつかしく、昭和と聞いただけで反応し、じっとしてられない私です。気持ちはあつかましながら少女です。今日は、ホットな、安らかな時間を過ごすことができました。スタッフの皆様ありがとうございました。



第47回 自泉フレッシュコンサート

平成28年4月23日(金) 午後6時30分～

岸和田文化事業協会では、音楽を学び、プロフェッショナルとして歩み始める新人演奏家に、演奏の場と技術を磨く機会を提供しています。平成19年4月に第1回のコンサートを始めてから47回目になりました。

〈皆さんの声〉

- ◆ギター、一つ一つの音がクリアで誠実で、感動しました。確かな技術と積み重ね、「ギターを愛してる」感が出ていました。バイオリン、超絶技巧!! フルート、すごい!! 大感激!! バラード3曲、全然違う曲なのにどれも自分たちの曲にしてしまい、ピアノとのコンビネーションもすごかった。今日の全員の演奏を、もう一度聴きたい。
- ◆はじめての曲にたくさん出会えた、幸せな時間でした。若い皆さんの未来に大きな花が咲きますように、これからもがんばってください。
- ◆楽器演奏がどれも素晴らしかったです。スタッフの方々も休憩でのお茶出しなどしていただき、アットホームであり、会場もステキで満足なコンサートでした。
- ◆サロンの雰囲気良かったです。演目ももっと春らしくても良かったかもです。

弦楽四重奏で巡る音楽世界旅行

平成28年5月20日(金)
午後7時～

音楽をとおしての世界旅行、よかったですね。ヨーロッパだけでなく、アジア、南北アメリカ・アフリカ、いろいろな場所へ旅行してみたいです。皆さんはいかがでしょう。



〈皆さんの声〉

- ◆楽しいコンサートでした。新鮮でやさしく、カルテットの雰囲気が伝わってきました。曲目の企画に感心!!
- ◆音楽の解説が自然で感じよく楽しかった。演奏も息が合ってよかった。今後の活躍を期待します。
- ◆「アメリカ」と「スラブ舞曲」は40年前に演奏した経験があり、とても懐かしく、久しぶりに学生時代に戻れたように感じました。
- ◆なじみのある曲ばかりでしたが、演奏される楽器により、曲風が変わるものだと思います。とても楽しませていただきました。
- ◆広すぎず、狭すぎず、とても響きの良い空間で楽しめました。



「茶の歴史展」講演会と展示

講演会:平成28年5月28日(土)
午後2時～3時

展 示:平成28年5月25日(水)～29日(日)
午前10時～午後5時

平成28年度定時総会に絡めて、轟陶磁史料室の西念秋夫氏(本協会副会長)による「茶の歴史」について、講演をいただきました。「茶の歴史展」は、奈良時代から江戸時代までの写しを含む茶道具153点を展示し、展示している器での呈茶、また茶粥をいただきながら、心地良いひとときを過ごしました。

岸和田文化事業協会の事業 Information

第3回Re.フレッシュコンサート ～羽ばたこう ふたたび～

演奏をしばらく休止していた方、他の仕事をしながら音楽を学んでこられた方、また子育ても終わり、再度音楽の勉強を始められた方々によるコンサート

日 時:平成28年8月19日(金)午後6時半開演

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:大江 彩(ソプラノ)
岡田 敏子(ソプラノ)
尾道 幸司(バリトン)
松木 栄理(ソプラノ)
三和田 倫永(メゾソプラノ)
村上 千佳(ピアノ)

入場料:一般前売1,200円(当日200円増)
会員前売1,000円(当日200円増)

第48回自泉フレッシュコンサート ～秋に思いをはせて～

音楽を学び、プロフェッショナルとして歩み始めた新人演奏家によるコンサート

日 時:平成28年10月7日(金)午後7時開演

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:未 定

入場料:一般前売1,200円(当日200円増)

会員前売1,000円(当日200円増)

蓄音機を使った 昭和初期のレコードコンサート vol.11

日 時:平成28年9月27日(火)
午後7時開演

会 場:岸和田市立自泉会館ホール

入場無料

岸和田能 秋の名曲を観る会 能楽「融」の上演とお話

日 時:平成28年10月14日(金)午後7時開演

会 場:杉江能楽堂

出演者:能楽協会大阪支部会員

入場料:3,000円(当日500円増)

※チケット発売日:会員 8月30日(火)
一般 9月6日(火)

■お問い合わせ 岸和田文化事業協会事務局まで
TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

文化情報

2016 子どもえんげき祭inきしわだ

日 時:平成28年8月3日(水)～7日(日)

会 場:岸和田市立浪切ホール各会場

入場料:プロ作品 前売1,500円(当日500円増)
アマチュア作品 無料

主 催:子ども演劇祭in岸和田実行委員会

問 合:TEL072-437-3456

※詳しくは <http://www.sozosha-net.jp/kishiwada-fes/>

平成28年度(平成28年4月～平成29年3月)

会員募集

年会費	個人会員(1口)	2,000円	団体会員(1口)	5,000円
(入会費不要)	家族会員(1口)	1,000円	法人会員(1口)	10,000円
	(個人会員の同居家族)		特別会員(1口)	50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。
郵便振込の場合は
口座番号 00970—9—28145
加入者名 岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

nouvelle Fontaine vol.52

発行:岸和田文化事業協会
発行日:2016年7月25日

◆事務局
〒596-0073
岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内
TEL/FAX 072-437-3801
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員 本郷元子・黒木幸子・小島栄子
歯黒猛夫・藤田保平・堀野和人

編集後記...

わが国は天災大国だといわれている。この頃は特に大規模な災害に次々と見舞われている。しかし同時に被災地域の人たちが、実に健気に忍耐強く力を合わせ助け合って再起・復興に向かっていくことに胸を打たれる。

そして様々な助力の中で、例外なく「文化の力」を実感させられる。大変な困難の中で、人間を本当に力づけ、奮い立たせてくれるのは「文化」なのだ。様々な分野の文化を守り育て開花させ、次代に繋いでいくことの大切さを深く考えさせられている。(本郷)

<http://www2.sensyu.ne.jp/fontaine/> 岸和田文化事業協会

検索